

2 学習意識調査

(1) 分析の視点【令和4年度に選定】

学力を支える非認知能力について、「学習指導要領において育成を目指す資質・能力」及び「学習の基盤となる資質・能力」に着目し下記『4項目』を選定し、経年比較を行っている。

ア 学習指導要領において育成を目指す資質・能力（3本柱）

- (ア) 知識・技能
- (イ) 思考力・判断力・表現力等
- (ウ) 学びに向かう力・人間性等

このうち、学びに向かう力は、他の2つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定づける重要な要素である。この力の中の「主体的に学習に取り組む態度」として見取ることができる『①学習に関する自己調整（※）』『②粘り強さ』の視点に係る設問を選定している。

※ 学習に関する自己調整

自ら学習の目標を持ち、進め方を見直しながら学習を進め、その過程を評価して新たに学習につなげること。

イ 学習の基盤となる資質・能力

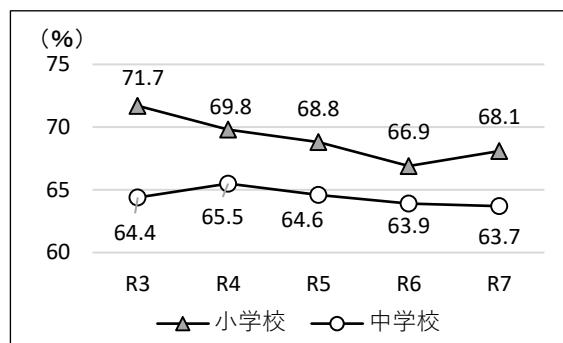
- (ア) 言語能力
- (イ) 情報活用能力
- (ウ) 問題発見・解決能力

このうち、学習活動を支える重要な役割を果たし、すべての教科における学習の基盤となる『③言語能力』、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して問題発見・解決等を行う『④情報活用能力』に係る設問を選定している。

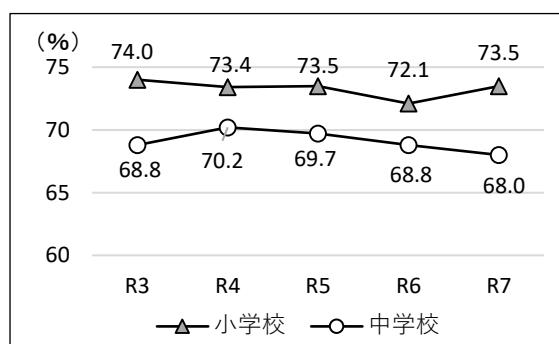
※ その他の主要項目の結果は、P15からP21参照

(2) 調査結果

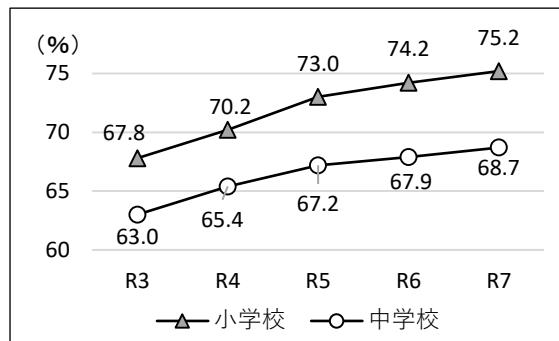
ア 授業で学習したことを振り返る活動を通じて、学習内容に対する興味や関心が深まったり、広がったりしたと思う【学習に関する自己調整】



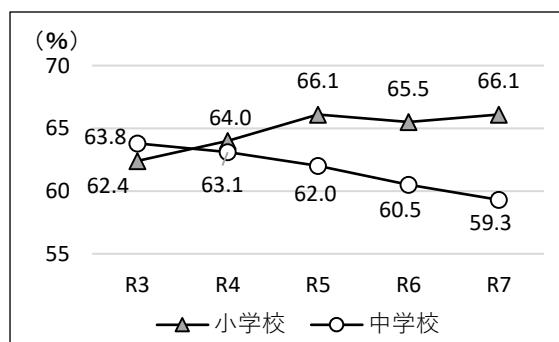
イ わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している【粘り強さ】



ウ 自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる【言語能力】



エ 先生から示された課題や自分で立てた課題について、インターネットや図書等から必要な情報を集め、整理することができる【情報活用能力】



(3) 結果の分析

ア 学びに向かう力について

(ア) 学習に関する自己調整

小中ともに、「子ども主体の授業」への転換を進めてきた効果が定着してきている。今後は、児童・生徒の振り返りの精度を上げ、興味・関心の深まりを自己認知させていく必要がある。

(イ) 粘り強さ

問題解決・課題解決に向けての「見通し」をもって粘り強く学習できるよう、授業改善を進めてきたことで、小・中ともに70%前後で推移しているが、今後は、自己の課題を追究し、学習の成果を自己認知できるようにしていく必要があると考える。

イ 学習の基礎となる資質・能力について

(ア) 言語能力

足立スタンダードに基づく授業において、自らの考えを述べる、他者の意見を聞くといった活動場面を多く設定してきたことで、小・中ともに上昇傾向にある。また、タブレット端末の効果的な活用について教員の理解が深まり、多様な表現方法を実現できる状況が整っていることが上昇の要因であると考える。

(イ) 情報活用能力

小学校については、「探究的な学び」を着実に実践している成果と考える。一方、中学校は下降傾向であり、「探究的な学び」の機会が減少している可能性がある。今後は、足立スタンダードの推進とともに、図書の活用を含め、情報活用の機会を効果的に設定していく必要がある。

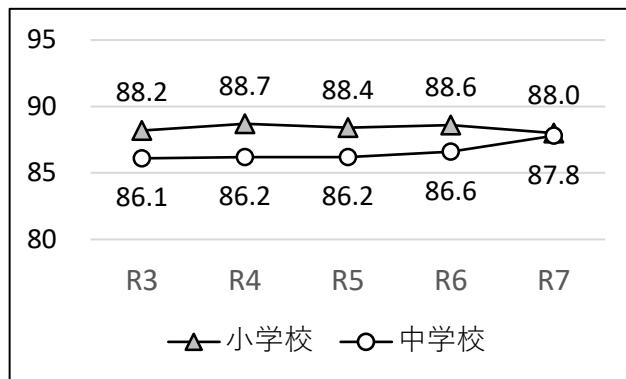
(4) 主要項目の学習意識調査結果（小中別・経年変化）

学習意識調査のうち、「学校への意識」「勉強・教科に関する意識」「授業における学びの状況」「自ら学ぶ力」「学びを律する力」「自己肯定感」「自制心・勤勉性」「他者理解・協調性」「キャリア形成意欲」の設問の、経年比較を行った。

〔肯定的な回答の割合（%）〕

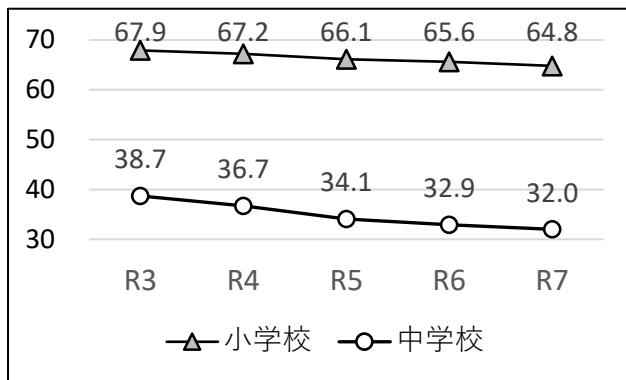
ア 学校への意識についての設問

（ア）学校に行くのが楽しい

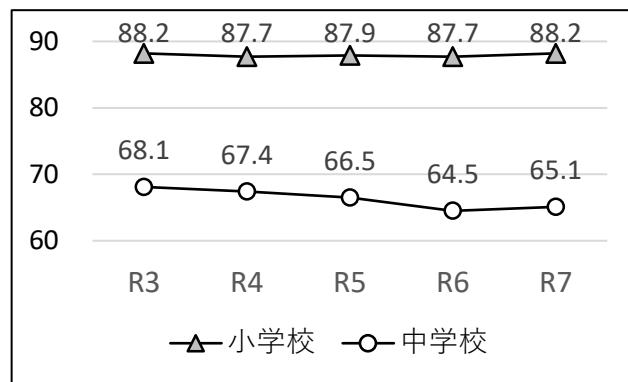


イ 勉強・教科に関する意識についての設問

（ア）勉強は好きだ

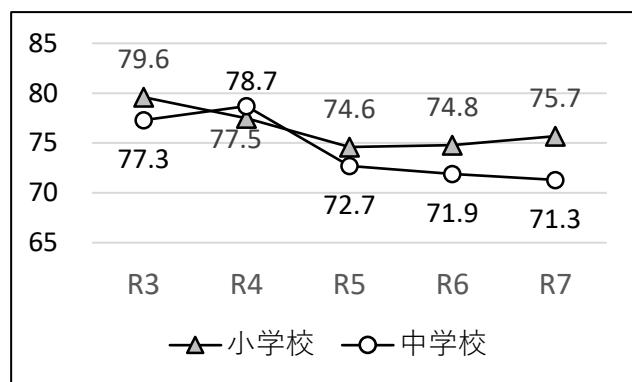


(イ) 学校の授業はどの程度分かるか

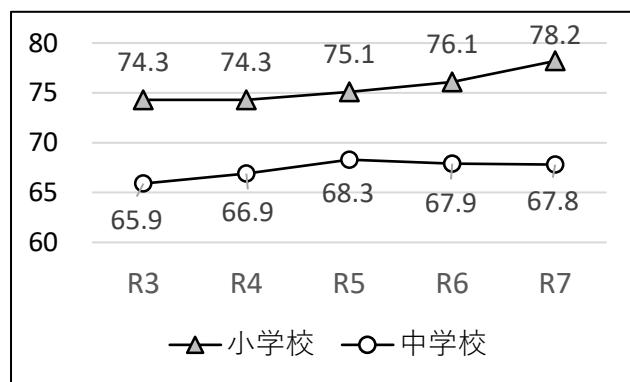


ウ 授業における学びの状況についての設問

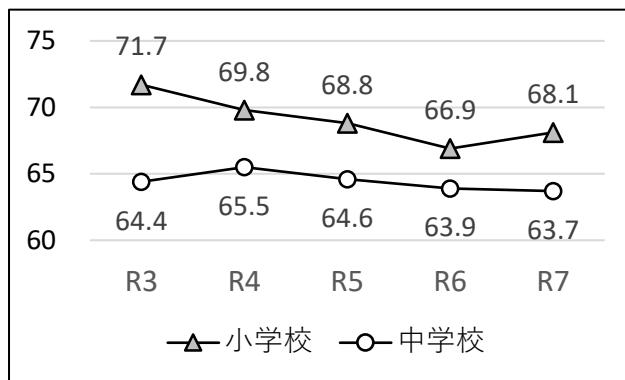
(ア) 授業のはじめに示された目標（めあて・ねらい）を理解し、見通しをもって学習に取り組んだと思う



(イ) グループ活動やペア活動では、自分から積極的に発言したり、みんなで意見を出し合うことができたと思う

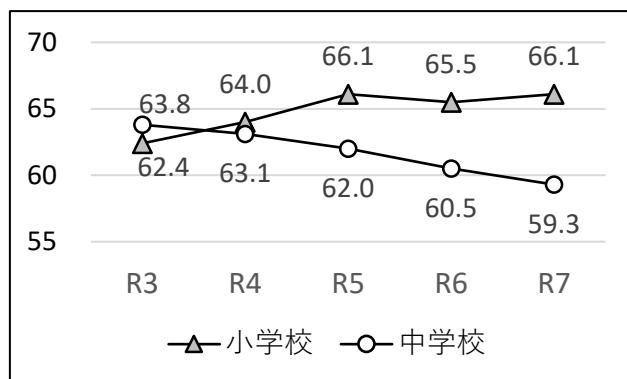


(ウ) 授業で学習したことを振り返る活動を通じて、学習内容に対する興味や関心が深まったり、広がったりしたと思う

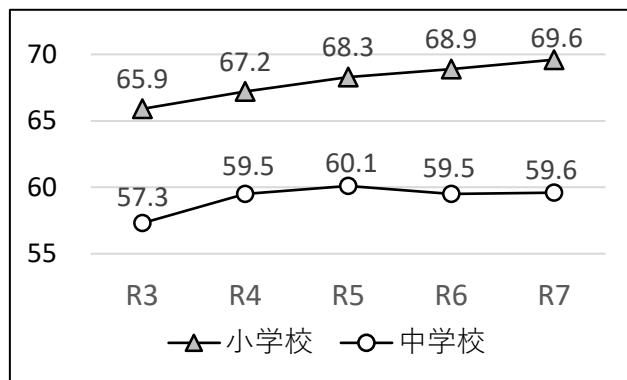


エ 自ら学ぶ力についての設問

(ア) 先生から示された課題や自分で立てた課題について、インターネットや図書等から必要な情報を集め、整理することができる

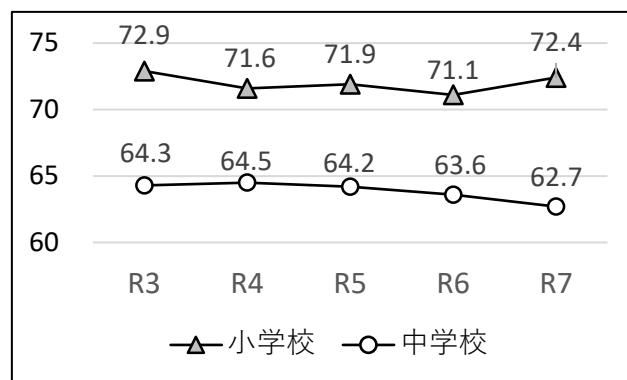


(イ) これまで学習したことを使って新しい問題を工夫して解決している

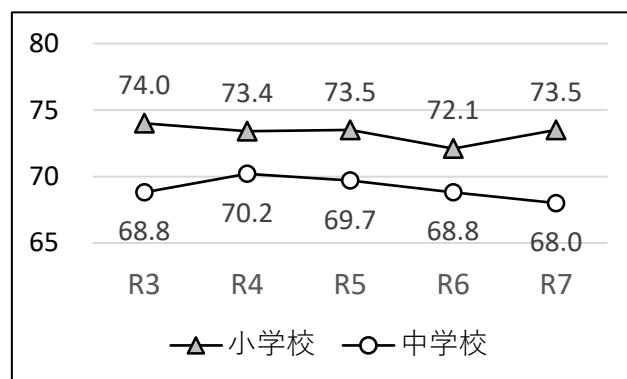


才 学びを律する力についての設問

(ア) 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしている

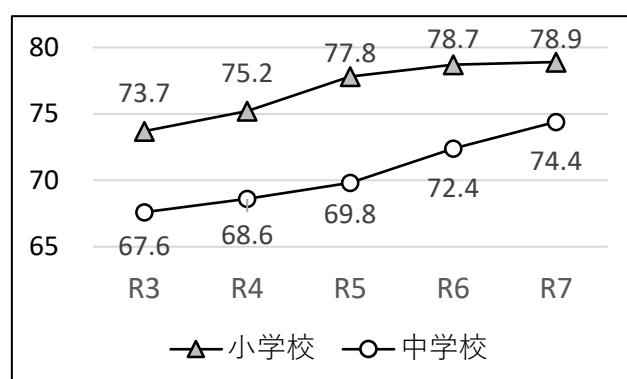


(イ) わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している

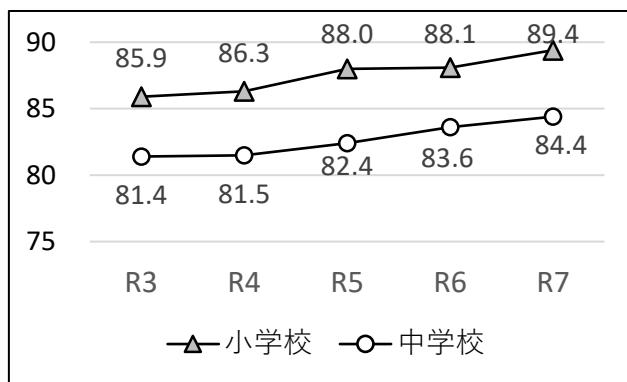


力 自己肯定感についての設問

(ア) 自分にはよいところがあると思う

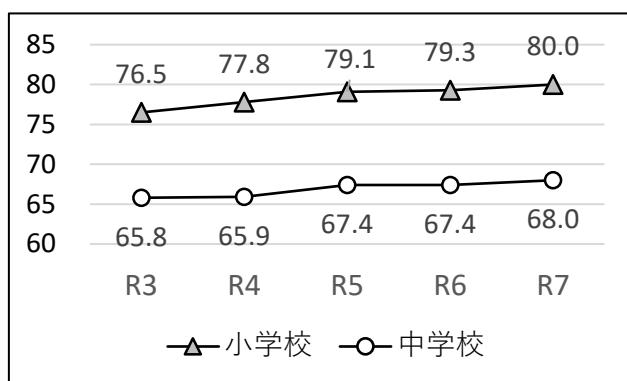


(イ) 努力をすれば、自分もたいていのことはできると思う

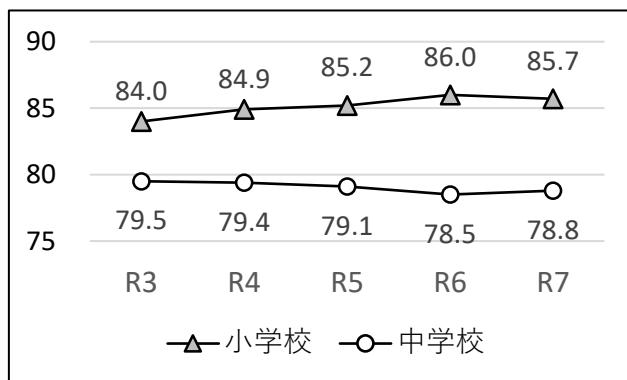


キ 自制心・勤勉性についての設問

(ア) 難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる

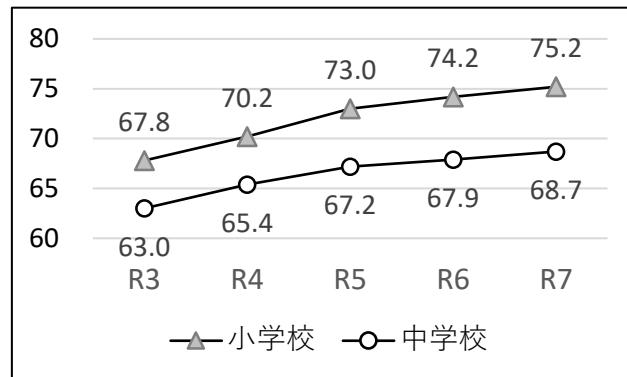


(イ) 自分がやらなければならないことは、やりたくないときでも、きちんとやりぬくことができる

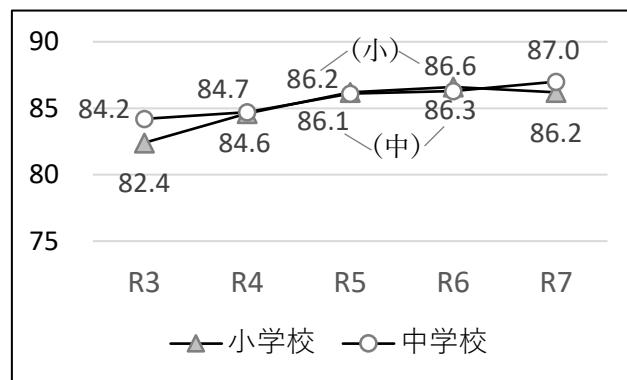


ク 他者理解・協調性についての設問

(ア) 自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる

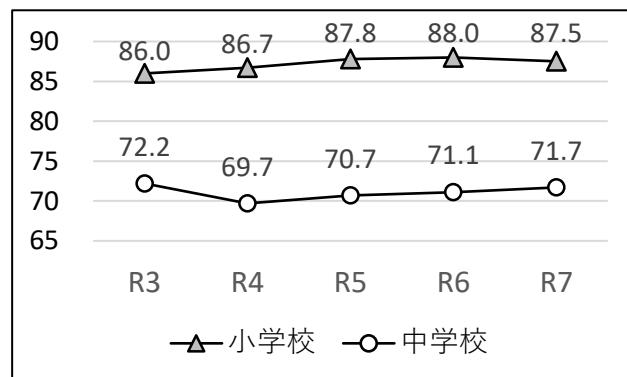


(イ) 自分の果たすべき役割や分担を考え、周囲の人と力を合わせて行動しようとしている



ケ キャリア形成意欲についての設問

(ア) 将来の夢や目標を持っている



(イ) 自分の将来の夢や目標の実現に向かって努力したり、その方法を工夫・改善したりしている

